

**令和3年度**

# 施設評価調書

**施設の名称……吉田松陰寓寄処**

**所管担当課……教育委員会生涯学習課**

**令和3年7月**

令和3年度
-------

施設名(愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処
----------	------------

番号	23
----	----

## 設置目的の達成度

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する。					
運営事業名	R元実績値	R2年目標値	R2年実績値	対前年比	目標達成率	評価
施設入場者数	2,641人	3,600人	1,116人	42.3%	31.0%	E
設置目的に対する総合評価						<b>E</b>
目的達成度の評価基準	目標値：12人(大人10人,小中学生2人) / 1日×25日/1ヶ月×12ヶ月=3,600人 評価基準：A=100%以上、B=80~99%、C=60~79%、D=40~59%、E=40%以下					

### 2 現状分析(Check)

運営事業の意義と現状	令和2年度については、通常公開(水曜日休、年末年始特別公開)にて対応。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月9日から6月18日まで臨時休館。 一昨年度より入場者数の減少が続いている。
上記の原因	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に加え、開館後も緊急事態宣言対象地域からの入館を制限していたため、入場者数が大幅に減少。(平成27年はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の反響により、入場者数が増加したと考えられる。)

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	静岡県指定文化財(史跡)であるため、静岡県文化財保護条例等により現状変更が制限されている。地域の文化財を活用した総合的な取組などを行うことも必要と考えられる。		
	運営事業名	R3年度目標値	備考
R3年度運営事業と目標値	公開事業	入場者数 2,700人	目標値=9人(大人7人,小中学生2人) / 1日×25日/1月×12ヶ月=2,700人 ※過去5年間の実績値の平均より算出

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価 \*上覧=目標値、下欄=実績値

運営事業名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
総合評価	<b>C</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
施設入場者数	4,500人	3,600人	3,600人	3,600人
	3,404人	3,061人	3,018人	2,641人

令和3年度
-------

施設名(愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処
----------	------------

番号	23
----	----

## 効 率 性

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		R元年実績値	R2年目標値	R2年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数等	2,641人	3,600人	1,116人	42.3%	31.0%
	B 年間経費	10,309,092円	3,102,255円	3,556,326円	34.5%	87.2%
	B/A	3,903	862	3,187	81.7%	27.0%
②光熱水費		44,314	48,000	36,693	82.8%	130.8%
③消耗品費		18,101	15,000	31,016	171.3%	48.4%
効率性指標の考え方等		A. 施設総利用者数＝入場者の実数を集計 B. 年間経費＝施設管理にかかる支出額＋職員人件費（目標値は予算額） 備考：令和2年度 吉田松陰寓寄処 用地測量業務を実施。 事業費合計 845,900円				

### 2 現状分析(Check)

効率性の現状	臨時休館により光熱水費は減っているが、消耗品費等は増加している。また、今後の修繕等による経費の増額が見込まれる。
--------	--

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	一層の節電、節水の他、施設の機能を維持しながら可能な限りで経費を抑えていきたい。併せて入場者の増加を図りたい。		
R3年度効率性の目標値	① 利用単位当たり経費B/A	1,401	年間経費（R3年度予算）／施設利用者目標値（2,700人）÷1,401円/人
	② 光熱水費	45,000	年間経費（R3年度予算）
	③ 消耗品費	13,000	年間経費（R3年度予算）

### ※参考 過去の効率性指標

効率性指標		28年度	29年度	30年度	R元年度
① 利用単位 当たりの経費	目標値	4,500	3,600	3,600	3,600
	A実績値	3,404	3,061	3,018	2,641
	B実績値 (7頁支出合計＋職員人件費)	2,063,715	1,930,452	2,070,118	10,309,092
	B/A	606	631	686	3,903
	対前年比	155%	89.9%	98.6%	569.0%
	目標達成率	76%	85%	83.8%	23.9%
② 光熱水費	目標値	31,000	28,000	42,000	54,000
	実績値	34,814	34,216	41,443	44,314
	対前年比	89.3%	98.3%	121.1%	106.9%
	目標達成率	89%	81.8%	101.3%	121.9%
③ 消耗品費	目標値	4,500	16,500	16,000	15,000
	実績値	16,500	16,000	8,097	18,101
	対前年比	365.6%	97%	50.6%	223.6%
	目標達成率	27.3%	103.1%	197.6%	120.7%

令和3年度
-------

施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処
----------	------------

番号	23
----	----

#### 4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	30 年度	R 元年度	R 2 年度
	①使用料原価	1 m <sup>2</sup> 1 時間当たりの原価	円	4.2	22.8	10.7
	②稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	773.0	238.9	3364.6
	③ 1 m <sup>2</sup> 1 時間 適正使用料	①×②	円	32.2	54.5	359.3
	④ 現行 1 m <sup>2</sup> 1 時間使用料 の平均	—				
	⑤適正化計画	—				

【算出式（小数点2位以下繰上）】

①使用料原価（1 m<sup>2</sup> 1 時間当たりの原価）＝（人件費＋物件費）÷総面積÷年間使用可能時間

②稼働割原価率（年間経費を年間収入で賄えない比率）＝年間経費÷年間収入

③ 1 m<sup>2</sup> 1 時間適正使用料＝1 m<sup>2</sup> 1 時間当たりの原価×年間経費を年間収入で賄えない比率

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		21,973	21492	21,080	20,734
	人口 1 人あ たり(円/人)	運営経費(収入除く)	93	472	161	174
		下田市負担年間総経費	101	279	164	143

\*人口 1 人あたりの運営経費＝運営経費（支出合計、職員人件費除く）／人口

\*人口 1 人あたりの年間総経費＝下田市負担年間総経費（支出＋職員人件費－収入）／人口

令和3年度	施設名(愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
-------	----------	------------	----	----

## 利用者満足度調査

実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	調査の方法		年度調査数	件
○貸館利用者向け					
1 調査結果					
設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数	
	1 2 3				
	1 2 3				
	1 2 3				
※今年度寄せられたクレーム等 大きな苦情は寄せられなかった。 大型バスの駐車場に関する問い合わせが多い。					
2 調査結果から読み取れること					
3 次年度以降への改善点					

## 施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費	修繕・買換等 予定年度	備考(修繕済年度等)
	吉田松陰寓寄処(家屋) 下田市取得	—		昭和55年寄附
	屋根補修工事	230,000		昭和58年実施
	火災報知機設置並びに諸修繕工事	600,000		昭和60年設置
	便所新築工事	1,263,000		昭和63年新築
	屋根葺替・部分修理(土間・建具等)	17,442,020		平成3年実施
	屋根修繕(鶯巣部分)	—		平成8年実施
	屋根修繕・竹垣修繕	2,067,850		平成16年実施
	冠木門修繕	262,500		平成20年実施
	茅屋根葺き替え、竹垣復旧、便所整備	23,273,700		平成26年3月~7月実施
H26	便所外壁修繕	検討中		
R元	スポットエアコン	73,000		令和元年購入
R元	茅葺屋根一部修繕	1,133,000	R3	
	シロアリ防除	410,300	R3	
※今後想定される維持管理事項 ・耐震化についての検討(H22 静岡県文化財建造物耐震診断指針策定委員会による予備基礎診断実施済) ・トイレ・電灯設備・浴槽の修繕				

令和3年度

施設名（愛称名） 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

管理運営上のその他評価項目

<p>当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>幕末開港の歴史をもつ下田市を代表する史跡として、児童生徒の学習活動や入場者の歴史理解に寄与しており、必要である。 静岡県指定文化財（史跡）であるため除却・廃止はできない。 文化財の保存と学術研究に供することが目的である。</p>
<p>民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性</p>	<p>「公の施設の管理運営等に関するガイドライン」に基づき検討したが、指定管理者制度の活用のメリットが見込めないと考えられるため、当面、直営で施設の管理を行いたい。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>通常の維持管理費は必要最小限度で抑えられているが、修繕に際しては文化財保護に即した特殊な技術が要求されるため、費用は高額となる。</p>
<p>施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性</p>	<p>史跡としての規模と内容を考慮すれば妥当な金額である。 例) 重文 岩科学校：大人 300 円 中学生以下無料 重文 江川邸：大人 500 円小・中学生 300 円</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	
<p>【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等</p>	<p>同規模で同種の施設は無い。</p>

令和2年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
芸術文化振興事業（6500 事業）	吉田松陰寓寄処管理を含む	
	管理人（3名雇用）による公開・管理	

令和3年度

施設名（愛称名） 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

**施設の概要**

1 施設名 (愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係			
3 所在地	下田市蓮台寺 300 番地		4 設置年月	昭和 55 年 4 月 1 日			
5 総合計画の 位置付け	基本計画の分野	分野 2 子育て・教育					
	施策体系	施策 5 歴史・文化の伝承と芸術の振興					
6 設置目的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する						
7 設置根拠	下田市吉田松陰寓寄処設置管理条例						
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 153.49 m <sup>2</sup> 建物延面積 108.26 m <sup>2</sup> 1F 95.04 m <sup>2</sup> 2F 15.43 m <sup>2</sup> 建築年：江戸時代（後期） 構造：木造平屋建、一部中二階、茅葺、東入母屋造、西寄棟造 指定内容：静岡県指定文化財 種別：史跡 指定年月日：昭和 16 年 10 月 27 日					
	実施事業 の概要	幕末期に下田に来訪した吉田松陰ゆかりの史跡の保存管理と学術研究に資するため一般公開を実施。					
	料金体系	料金区分	(入場料) <b>第 5 条</b> 寓寄処の参観のため入場する者の入場料は次のとおりとする。 (1) 小・中学生 50 円 (2) 一般（高校生以上） 100 円 (3) 団体割引 30 人以上 1 割引 2 入場料は原則として入場の際徴収する。				
			種別	単位	昼	夜	昼夜
		小・中学生	1 人	50 円	—	—	
		一般	1 人	100 円	—	—	
団体	30 人以上	1 割引	—	—			
減免内容	(入場料の免除) <b>第 6 条</b> 前条の規定にかかわらず教育委員会が公益上特に必要と認める場合は入場料の全部又は一部を免除することができる。						
利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営						
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者					
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容					
直接従事職員	下田市職員数 1 名 会計年度任用職員 3 名 (管理人・施設管理は常時 1 名)						
9 市内の 類似施設	下田市所有	なし					
	民間所有	なし					

令和3年度

施設名(愛称名) 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		R2年度末残高			(備考) 減価償却対象外	
	土地取得費	5,100,000円	土地残高	0			
	建物取得費	寄附	建物減価償却後残高				
	財源内訳						
	国・県支出金	2,550,000円					
	市債		市債残高				
	一般財源	2,550,000円					
	寄附金等						
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高	0			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H30年度決算	R元年度決算	R2年度決算	R3年度予算	
	収入	入場料収入	267,805	244,400	105,700	252,000	
		県費補助金	0	4,071,000	0	556,000	
	収入合計		227,030	267,805	105,700	808,000	
	支出	報酬(会計年度職員)	0	0	2,124,423	2,027,000	
		職員手当(会計年度職員)	0	0	132,665	20,000	
		費用弁償(会計年度職員)	0	0	66,240	90,000	
		賃金(管理人)	1,391,394	1,358,005	0	0	
		需用費	143,500	175,165	67,709	1,314,450	
		消耗品費	8,097	18,101	31,016	13,000	
		光熱水費	41,443	44,314	36,693	45,000	
		印刷製本費	93,960	112,750	0	98,450	
		修繕料	0	0	0	1,158,000	
		役務費	11,637	11,776	12,304	13,000	
		委託料	39,711	2,083,147	886,347	41,000	
		使用料及び賃借料	312,545	234,677	96,000	96,000	
		工事請負費	0	1,112,100	0	0	
		公有財産費	0	5,100,000	0	0	
	備品購入費	0	73,000	0	0		
	支出合計		1,898,787	10,147,870	3,385,688	3,601,450	
減価償却費		0	0	0	0		
市債利子		0	0	0	0		
職員人件費		171,331	161,222	170,638	181,645		
下田市負担年間総経費		1,802,313	5,993,692	3,450,626	2,975,095		
備考	○人件費は、実額を算出記載(当年度の人件費総額を按分し、事務量を勘案の上1/40人工で算出した。)						
	○下田市負担年間総経費=支出合計+職員人件費-収入合計 ○R2年度より管理人の雇用形態が会計年度職員(3人)となっている。 ○R2年度 吉田松陰寓寄処用地測量業務 総事業費 845,900円(委託料)						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H30年度決算	R元年度決算	R2年度決算	R3年度予算	
		利用者数	市内	—人	—人	—人	—人
			市外	—人	—人	—人	—人
			合計	3,018人	2,641人	1,116人	—人
	参考:利用単位	597円/人	2,269円/人	3,092円/人	—円/人		
	あたり市負担額	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
休館日	水曜日及び12月29日から1月3日まで(H13より年始臨時公開実施)						
使用時間	午前9時から午後5時まで						